

## 学芸員養成支援（博物館実習）



当館では、博物館や美術館等で働く専門職員である学芸員の資格取得の支援として、資格に必要ないくつかの講義と実習を提供しています。

なかでも博物館実習は、当館での2週間にわたる博物館実習Ⅰと、学生の出身地の一般館園での5日以上の館務実習を行う博物館実習Ⅱから構成されており、本学の学芸員の養成課程で学んだ知識や技術を生かす総仕上げの実習となっています。

博物館実習Ⅰでは、博物館の管理・運営など基本となる内容をふまえ、動植物の収集・分類・標本の作製といった基本的なスキルから、来館者への館内ガイドといった接客業務まで幅広い内容を体験しながら学びます。

今年度は、21名の実習生が熱心にこれらの実習に取り組みました。

## JSPSひらめき☆ときめきサイエンス～KAKENHI～ 土の粒子から農業や環境の歴史を科学する



開催日 2018年8月1日（水） 参加者 中学生17名

土に含まれる植物に起源する粒子（プラント・オパール）の抽出から観察までの一連の実験を通して、歴史を科学的に研究するという方法を学んでもらうプログラムです。また、この方法を用いて、国内外で行われている最新の研究情報もあわせて紹介しています。

詳しくは、ひらめき☆ときめきサイエンスのホームページ（<https://www.jsps.go.jp/hirameki/>）をご覧ください。

## 平成30年度 大学開放事業 （みやだい Waku Waku 体験 Day）



開催日 2018年11月17日（土）～ 11月18日（日）

例年、日頃の教育・研究活動の一端を児童生徒や地域の方々に知っていただくための広報活動の一環として、学生主催行事の「清花祭（きよかさい）」と同時期に実施しています。

当館では、参加者に日本と世界で食されてきた、さまざまな米や雑穀および米粉のパンを試食してもらい、展示や視聴覚資料をとおして「米」や「雑穀」の栄養や食べ方・歴史について学んでもらう参加体験型展示と工作教室を行いました。

## 平成30年度宮崎大学きッズサマースクール 農業博物館で遊ぼう



開催日 2018年8月9日（木） 参加者 小学生16名

博物館の見学のほか、カイコの観察や、海の生き物や動物の骨格について、ゲームを通じて学習したり、食品の話の聞いたり、工作教室を行ったりしました。

## 大学へのアクセス・利用案内



宮崎大学農学部  
附属農業博物館

開館 月～金 [9:00～16:00]  
※土日祝・年末年始は除く  
入館料 無料

# Agricultural Museum NEWS

2018  
NO.40

## 平成30年度企画展示 「のうがく図鑑」展



ニホンウナギのレプトケファルス幼生  
(増養殖研究所・田中秀樹博士提供)



宮崎大学 農学部  
UNIVERSITY OF MIYAZAKI  
宮崎大学農学部 附属農業博物館

HP : <http://www.agr.miyazaki-u.ac.jp/~museum/>



# のうがく図鑑

農学は、あらゆる分野を含む総合科学であるため、農学部には、基礎から応用まで幅広い教育や研究を行い、いろいろな分野で活躍されている先生方がいらっしゃいます。「のうがく図鑑」は、宮崎大学農学部ホームページにて、教育や研究の楽しさ、喜びや悩みなど、先生方の経験や知識を元に興味あるお話を提供していただく場として始められたものです。今回、当館は、そのエッセンスと先生方の生き生きとした活動をお伝えしようと、「のうがく図鑑」で紹介されている特徴ある画像を中心とした写真展を実施いたしました。

これらの写真に興味を持っていただいた方は、ぜひ、下記の URL、もしくは QR コードで農学部 HP の「のうがく図鑑」へアクセスし、詳しい内容をご覧ください。



宮崎大学農学部「のうがく図鑑」URL: <http://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/>

2017年の九州北部豪雨の際、福岡県朝倉市で発生した大きな土砂災害



清水 収 森林緑地環境科学科

微生物燃料電池



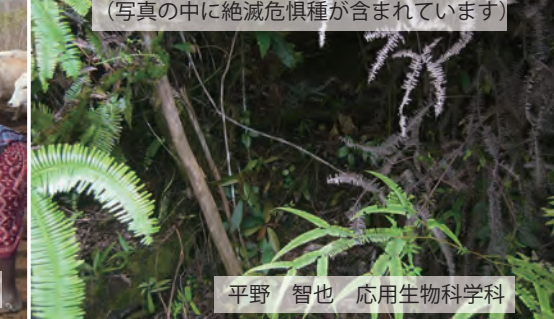
井上 謙吾 応用生物科学科

タンザニアでの調査風景



山崎 渉 獣医学科

素材が命 (写真の中に絶滅危惧種が含まれています)



平野 智也 応用生物科学科

海外のスーパーマーケットの乳製品売り場



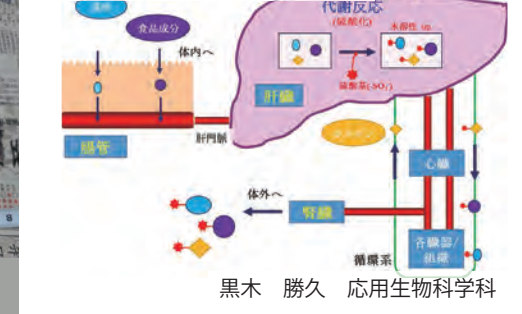
仲西 友紀 応用生物科学科

海水で育てたヤマメ (下) と淡水で育てたヤマメ (上)



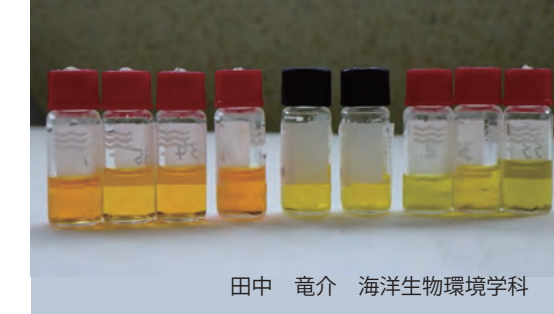
内田 勝久 フィールド科学教育研究センター (延岡)

硫酸化による生理活性物質の代謝



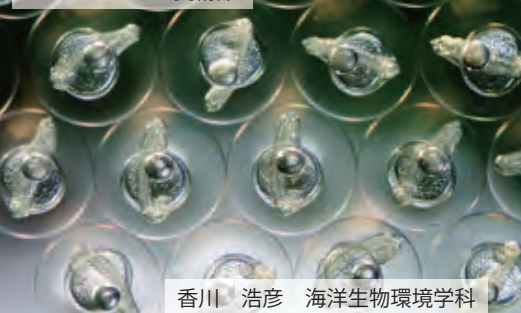
黒木 勝久 応用生物科学科

海藻抽出成分



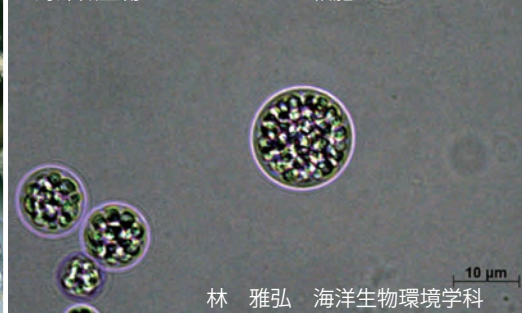
田中 竜介 海洋生物環境科学科

ニホンウナギの受精卵



香川 浩彦 海洋生物環境科学科

海洋微生物ラビリンチュラの細胞



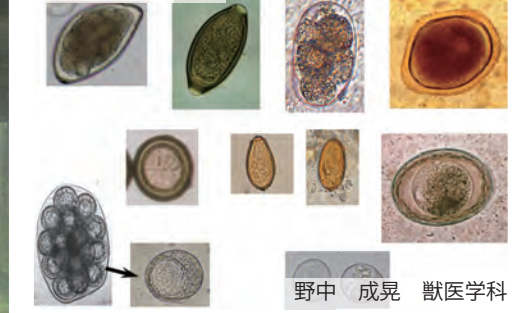
林 雅弘 海洋生物環境科学科

微生物製剤のカンパチへの給餌試験



田岡 洋介 海洋生物環境科学科

様々な寄生虫の卵



野中 成晃 獣医学科

住吉牧場でのウシの飼養管理実習風景



石田 孝史 畜産草地科学科

中国青海省の草地に放牧されている家畜 (ヤク)



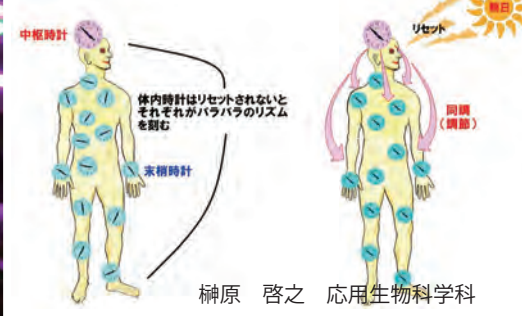
井戸田 幸子 畜産草地科学科

植物工場



霧村 雅昭 植物生産環境科学科

体内時計を指揮する機構



榊原 啓之 応用生物科学科

分娩直後の黒毛和種牛の親子



北原 豪 獣医学科

宮崎大学演習林で見かけるタマゴタケ



亀井 一郎 森林緑地環境科学科

インド洋マスカレーン諸島で見つかった大型のタイ科魚類の新種



岩槻 幸雄 海洋生物環境科学科

収穫後のサツマイモ



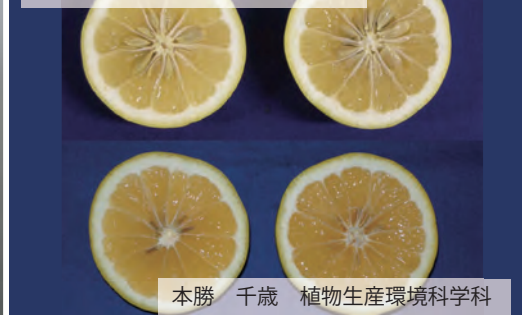
日吉 健二 植物生産環境科学科

オオルリの雄



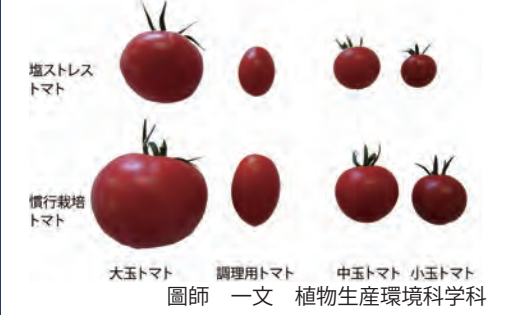
平田 令子 森林緑地環境科学科

上: 通常の日向夏 下: 西内小夏



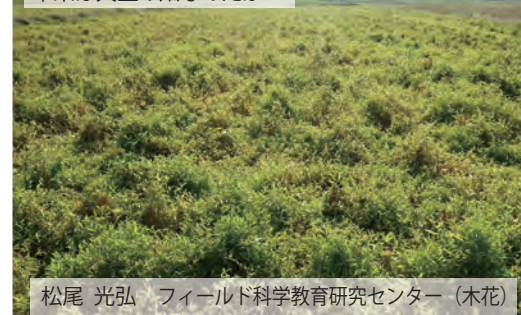
本勝 千歳 植物生産環境科学科

研究で栽培した塩トマト



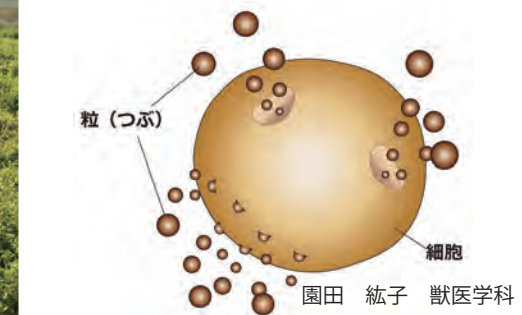
圖師 一文 植物生産環境科学科

本来は大豆の畑なのだが...



松尾 光弘 フィールド科学教育研究センター (木花)

細胞から放出される粒のイメージ図



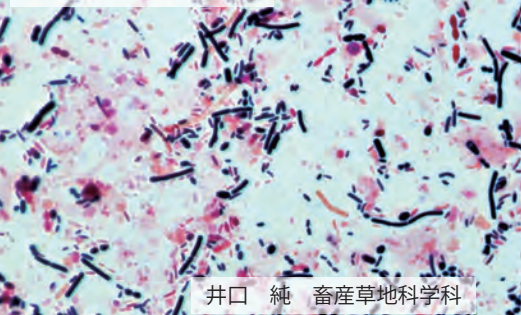
園田 紘子 獣医学科

宮崎大学で稼働している MRI 装置



佐藤 裕之 獣医学科

うんちは細菌でいっぱい



井口 純 畜産草地科学科

植物ウイルス病害の圃場調査



竹下 稔 植物生産環境科学科

消えゆく湖 オルミエ湖 (イラン)



多炭 雅博 森林緑地環境科学科

日向夏の花にやってくる昆虫たち



光田 靖 森林緑地環境科学科

水は農地や都市で利用される



篠原 慶規 森林緑地環境科学科

牧草の播種後7日目の様子



石垣 元気 フィールド科学教育研究センター (住吉)